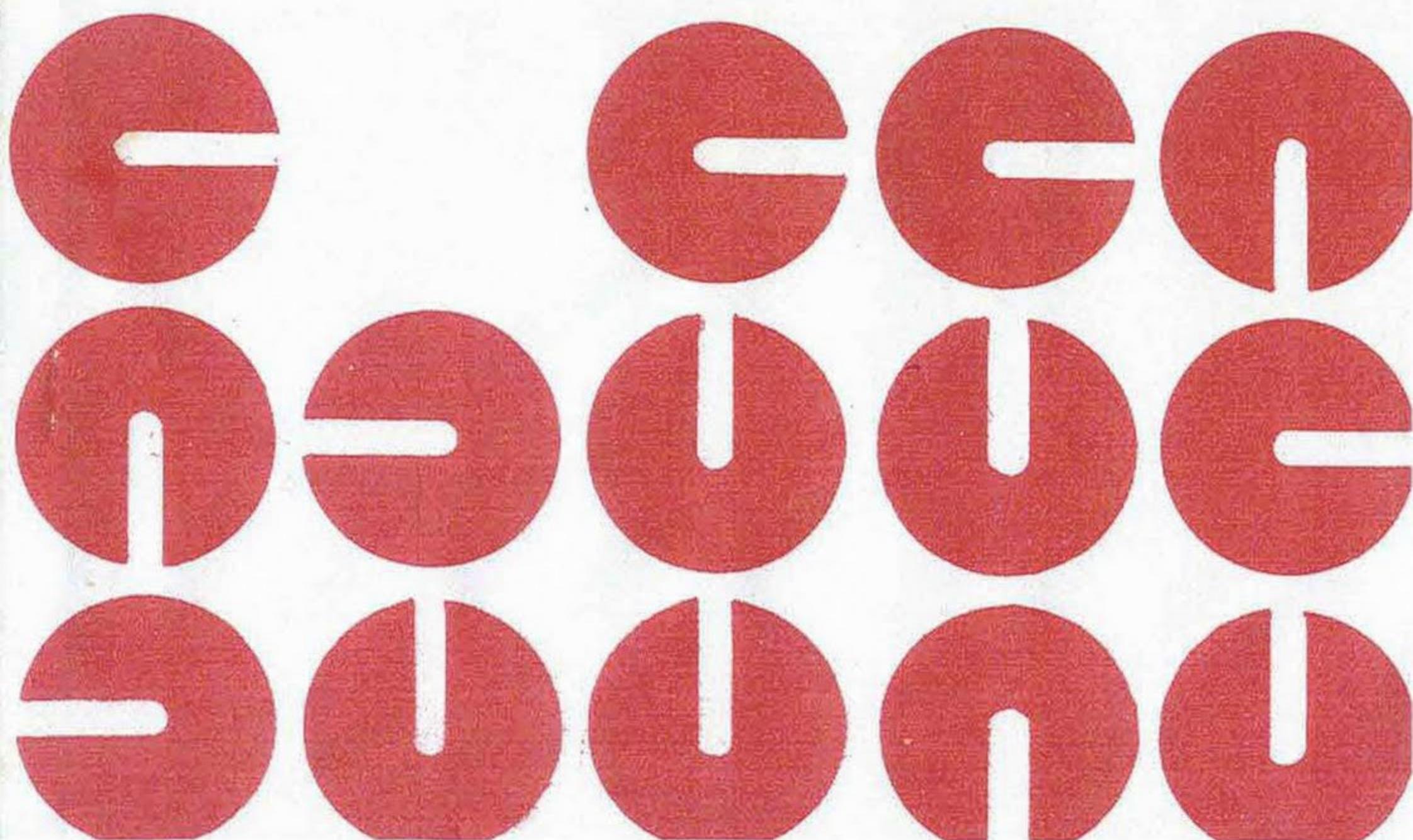
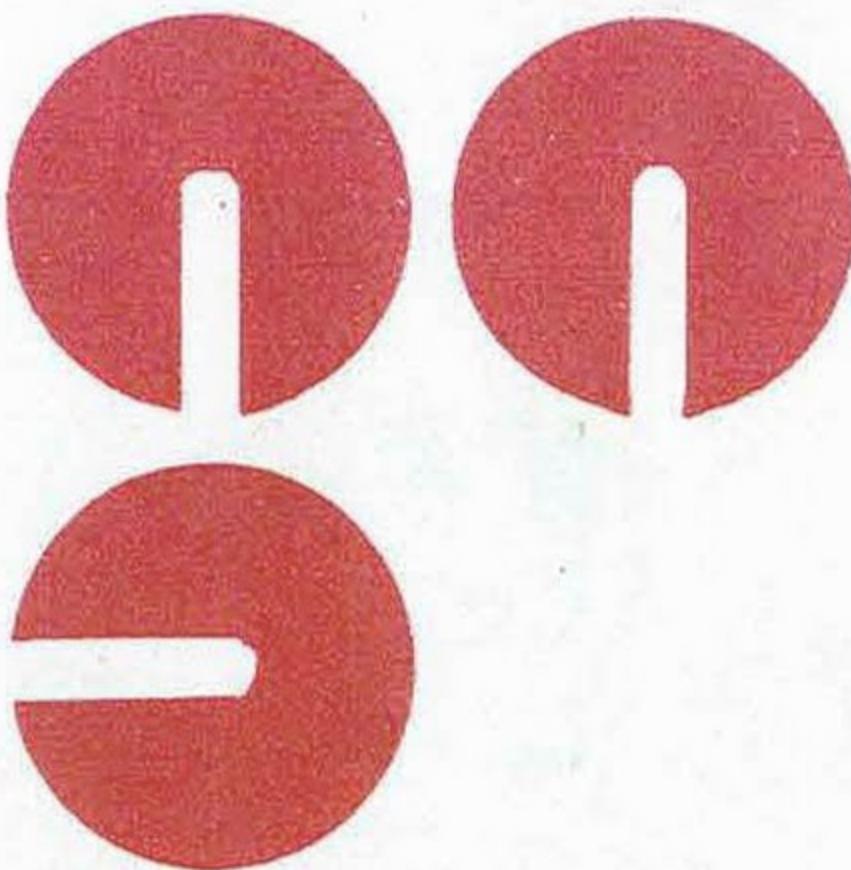


都大附高記念祭新制13回



フローラム (改正)

・20日 (金)

1	2	3	4	5	6	7	8
1B	自治会	E.S.S.	屋休	1D			
音智	音智	2A	2C	フーカタソス			

・22日 (日)

1	2	3	4	5	6	7	8
2B	放研	宿情制	登休	3A			
音智	3B	肉会式	ファイア				

訂正

- ・ 自治会講演会 「教育と自己」 と 「教育と权力」 有る。
- ・ OBとの懇談会は 20日 P.M. 5:30より於ホセ5
- ・ スポーツケジュールで 左端の空欄は バスケットボール
又、時間が抜けているますが 前始午時、最後土曜日、終了が午前
- ・ 展示の中に 山岳部写真展 於ホセ8を入れて下さい。

大学現役合格へ直結する
大学受験と高校補習の専門校

代々木学院

◎午後部(4:30~6:00) 高校実力養成クラス開講中

高2文科、高文科、高2理科、高3理科

◎日曜部 午前(9:00~12:00) 英語科、午後(1:00~4:00) 数学科

◎夜間部(5:40~8:50) 大学受験科(東大総合、早慶文、理工)

※第4回公開総合模擬試験=11月19日(日)受験全科目実行

受験対策と進学の相談は即刻指導部へ!!

冬期講習受付中

代々木学院

東京都渋谷区代々木1~55

4545

(国電)代々木駅下車右1分

電(371)

2618

(祝) 記念祭

聞きしより

思いしよりも

見しよりも

食べておいしい生協の味

お食事は

生協食堂で

(学生ホール内)

都立大学生活協同組合 TEL 717~0111

記念祭にあたつて

プラタナスの葉がみごとに色づいたこの校庭に我々の情熱が今までに発露されようとしている。戦後13回、記念祭は一大転機に際している。そしてその転機を正しく遂行してゆくのが我々に課せられた義務となつた。「反戦平和」を求めて我々は記念祭に臨んできた。その間、劇あるいは展示の製作に全体が集中し一つの事を創造していく行動力を養う事ができただろうか。私は今回の記念祭が学園内にそのような風潮を生み出し、我々が今後の活動の指針を何かの形で体得でき、無思考性打破のきっかけとなり得るならば幸いに思う。

執行委員長

水谷四郎

記念祭は現在の我々にとつて全員による自治的具体的実践の場として唯一のものである。従つて自治の目的に僕達すべてが集中する事が何より必要とされる。記念祭に於て我々は集団における自己の方向——すべてに共通する——を見つけ自己成長へのきっかけにしたいと思う。なぜならそのことが現在の、そして未来の我々にとつて、又自治の発展にとつて、欠かせない事だからである。

自治が本来の目的を達する為には、いくつかの段階があろう。だが自治本来の目的と僕らの現在の行動とを関連づけながらその段階を越せたら、僕らのめざすものはすぐそこにあるに違いない。

その為に我々は何をなすべきか——テーマから新しい方向をみつけ発展させる事、すなわち考え、そして行動する事。

だがもう第13回記念祭のしめくくりがはじまる。

自治委員長

森田尚人

テーマ

自己の存在の認識



フローラム



20・20e(金)

朝会式	ユード	E.S.S.	ユーブ	水泳部	休憩	自治会
AM.8.30	10	11	12	PM2	3	3

	音智	放研	2-C	フォーク ダンス		
PM1.2	3	4	5	6	7	8

20・22a(日)

2-A	音智	2-B	休憩	定期制	3A	
AM.8.30	9	10	11	PM1	2	3

3-B	閉会式		ファイヤー			
PM.3	4	5	6	7	8	9

演劇

◆ 1 D

「青い火花」

演出 菅野 敬 水田 秋子
キャスト

佐川 達夫……竹中 征帆

野中 晴美……山口 純平

谷 八郎	……玉井 淳	木村 美保	……菖蒲 文子
サラリーマン	……海老塚豊	B G	……白石 浩子
サラリーマン	……石田尚道	母	……原田 貞美
子 供	……谷山たけ子		

少年院の少年達の行動を通して少年が眞の愛情を求めかつ悩む姿を描いている。一般と生活も違い、内容も違う世界、その中で生きていく少年達は、ことのほか愛情に飢えている。お母さんを思いかつ慕つていた人との別れ、これほど少年達の心を大きくゆすることはない。我々どの人もだれかを慕つている。それは父母、あるいは兄弟、友かもしけない。その存在を失う事を考えれば内容もよく理解出来ると思う。

◆ E S S

「The Last Leaf」

演 出 青山 秀樹 野瀬 洋子

キャスト

ジョンスイ	……朝倉 幸子	リンダ	……林 文子
ドクター	……石黒 直樹	バーマン	……野坂 三朗
ナース	……山本 壽子	ナレーター	……菰田 正子
アドバイザー	……クラ・ゴーマン ケルシイ・ピーチ		

ニューヨークのみすばらしいアパートに、三人の陽の目を見ない画家達が住んでいる。二人の女の中、一人は肺炎に冒され、生きる望みを失い、窓の外のつたの葉の落ちるのを自分の命が死に近づく現われであるかのごとくに見、葉がすべて落ちた時、自分の命も、又この世の枝から離れると想像し、常に窓の外の枯れた葉を見ている。これを聞いた老画家は哀れな女を救うべく、彼の心中にある名案を…………この名案が彼の命を奪い若い女の再起の原因となつたのだが…………。

嵐の過ぎた朝、風に揺れ動かないつた一枚の葉は、ベッドの中の女には、どの様に見えたか…………。

◆ 1 B

「山 小 屋 に て」

演 出 高橋 勝国 藤岡 俊信 津上 友子 小寺 節子

キャスト

総 乃	……山本 英子	源 三	……小林 肇三
舞 一	……保坂 浩	上 原	……関屋 直史
雨 野	……井上 俊治	政 二	……田中 憲夫
矢 口	……久保 晃一	男 一	……傍島 真

女 一……富沢 和美 女 二……布川 浩子

戦争、それはだれにとつてもいやなものです。ましてそのころの学生たちの気持はどんなだつたでしょうか。学徒出陣でいやでも引っぱられて行つてしまうのです。そんな時、あなたはどうしますか。この劇の中の「舜一」は「死」を選びました。いやな戦争へ行かないためには「死」より他に道がなかつたのです。「生きる」という事は最もいやな軍隊へ行く事だし結局は死につながつていると言つています。またもう一人自殺をしようとした学生が登場します。彼の場合は舜一の場合とはまったく理由が違います。しかしそれなりの理由はあつたのです。「若い人の自殺に対する親の気持」それらを考えながらこの劇を見ていただきたい。

◆ 水泳部 「日本 の 河 童」

◆ 自治会

講 演 「教 育 と 自 己」 (仮題)

講 師 宗像誠也氏

教育が私達に与える影響は、はかり知れない程大きい。私達の今までの人間形成の殆んどは教育によるものと言つて良いと思う。現在の教育は、「文部省による教育課程改定」や小山台高校のコース制等に表われているようにより強い、より大きな権力を持つたものが一方的に教育の目的、手段を決定し実施しているように思われる。

教育問題をもう一度考えるにあたり、教育における権力と私達との関係を認識することは不可欠なことだと思う。

◆ 音 智

『稜威』 『荒城の月』 『黒い瞳の』 『花咲笛』
『吟遊詩人』 『湖上』 『櫛弾兵』

◆ 放 研

「ハロウビー館の水霊」

演 出 白川 和子 平野 蕉子 脚 色 放 研
キヤスト

水 の 精……吉田瑠美子

老 主 人……稻葉 直昭

老 婦 人……青木美枝子

若 主 人……石倉 太郎

召 使……岡崎有多子

ナレーター……白石 浩子

湖の畔に建つハロウビー館に毎年クリスマスの晩になると水霊があらわれる。代々のこの家の主人はなんとかこれを防ごうといろいろ頭をひねるが、そのかいもなく、やはり主

人の部屋はこの水霊のためにビショ、ビショにされてしまう。さて者主人が死んだ後若主人がこの家を相続した。若主人もいろいろと頭をひねるのだが……。と言つたユーモア西洋怪談である。

◆ 2 C

「マテオ、ファルコーネ」

脚色・演出 溝口 英昭 釜 由貴子 山内 鶴子

キャスト

マテオ・ファルコーネ…山口 嘉万 ショゼツバ…中平 和子
ケオルトナー…谷川 康子 ガンバ…渡辺 忠
ジヤネット…廣瀬健一郎 著々人…杉浦 強司
少 年…高田 利武 少 女…植木 康恵

兵 隊1, 坂東 祐二 2, 黒川 和彦

3, 小山 東光 4, 森下 俊彦

19世紀のフランス、スペインを舞台としたメリメの作品は当時の社会を強く打ち出している物が多い。この作品では当時の社会では絶対的権力を持つている貴族とコルシカ人の対立、反発を感じながらも従うコルシカ人、そのコルシカ人としての民族意識からくる人間関係、更にはあらゆる時代に起りうる親子関係、社会への怒りが、悪への怒りが静かに爆発する。

◆ 2 A

「心 の 太 隅」

脚 本 片岡 冶 伊藤 勝沼

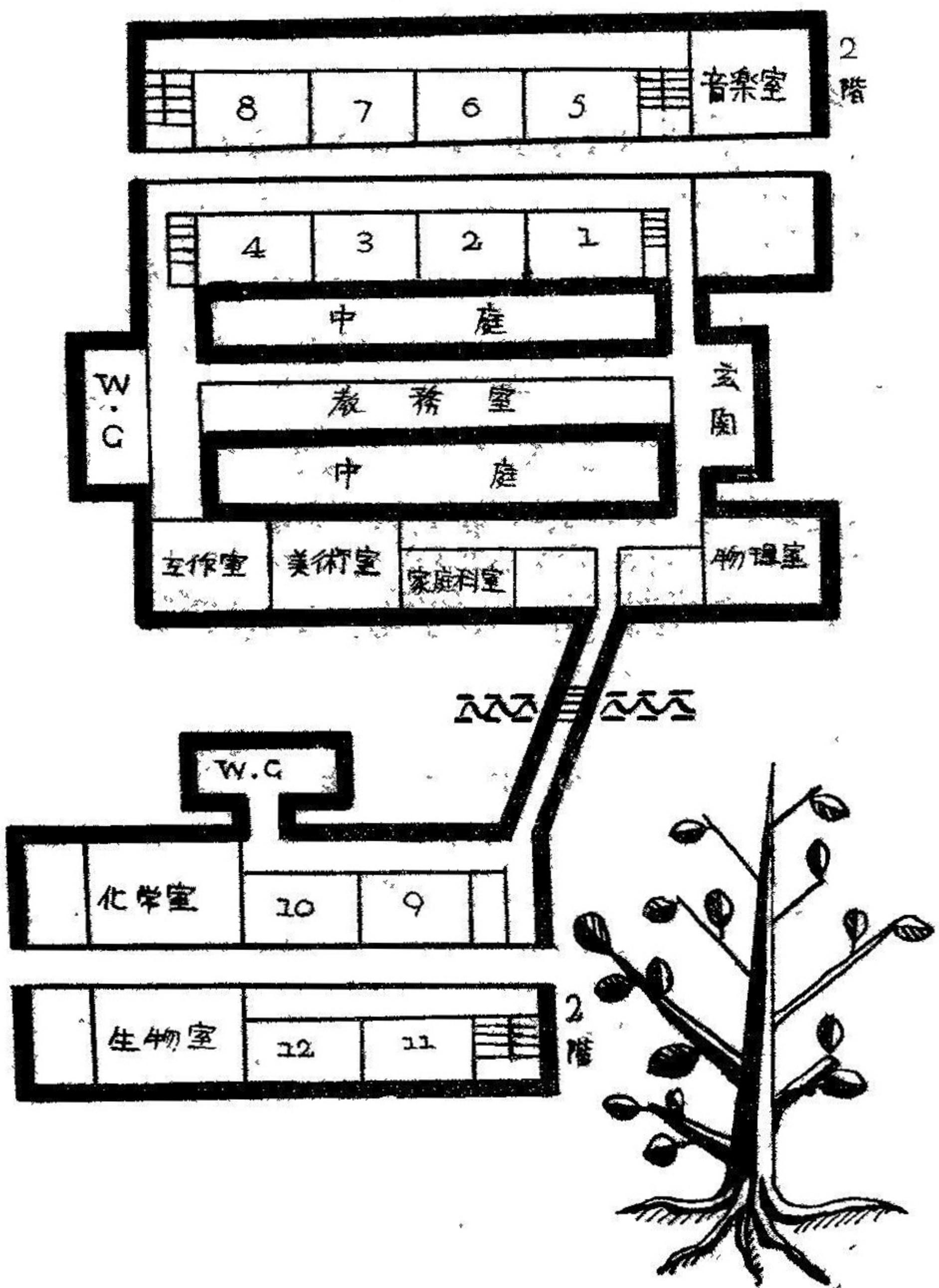
演 出 佐々野 孝 伊藤 勝沼 小池美津子

キャスト

ウ ク レ…片岡 冶	旅 芸 人…鶴井富士夫
ハーモン…渡部 優朗	片山 孝二
レ ン ド…加藤 久和	弓削 進
マルカット…斎藤 勝子	島田 真弓
メロディ…深沢伊都子	滝本佳也子
泥 棒…本原 貞正	
……牧野 哲彦	

戦争に敗れて失望した国民の心を明かるくする為にウクレとハーモンは歌を求めて世界中に旅に出る。その歌こそ心の太陽であつた。各国で歌を聞きながら遂に戦争の相手国アルトンへ行き、心なき群衆に襲われるが若者達に救われる。ウクレはその中のデュエットと親しくなるが彼らにはどうしても別れなければならない運命が待つていた。アルトンを

>全 校 見 取 図<



出た2人は旅芸人と会い、歌を搜して再び旅を続ける——。

今迄の記念祭における劇のマンネリ化を打ち破るべく、ミュージカル風に創作した苦心の作である。

◆ 音 智

『稜威』 『六つの民謡』 『朝の歌』 『流れゆく水』
『U・B・J』 『遙かなる友に』 『ふるさと』
『海は心』 『グローリア』

◆ 2 B

「ど ん 底」

演 出 浅葉 文雄 森田 正夫 磯山みどり 渡辺真理子

キャスト

コストイリヨーフ	篠原 敏夫	ナースチャヤ	吉沢 明子
ヴァシリーサ	佐伯久美子	ヴァシニヤー	蓮 昭子
ナターシヤ	渡辺真理子	ブブノーフ	岡田 藤市
メドヴェージエフ	衛藤 正徳	サーチン	水野淳二郎
ペーベル	高屋 伍郎	男爵	生沢 弘志
クレー・シチ	森野 征彦	役者	羽田 康一
アンナ	桜井 徳子	ルカ	富岡 文夫
アリョージカ	山崎 正人	だつたん人	山本 秀人
めつかちゾーフ	村 治郎	他数名	

人間は——もつと自由なんだ……

人間は——もつと上だ！

人間は脣よか高尚だ！

◆ 定時制演劇研究班

「春 雷」

演 出 石塚 善

キャスト

中村 文平(父)	本田 勝雄	伊豆子(母)	村田 典子
進	小林 隆史	弥 生	早見 道子

いつの世でも大学受験の勉強にはげむ受験生の姿は強くたくましく見えるものである。しかしそれらの行為はあくまで自発的なものであつてほしい。世の中の親たちは自分の見栄の為、我が子を無理に自分の思う通りに動かそうとする人が多い。社会的地位を保持する為に進学するのではけつしてない。学問は自分の会得しようとする方向に自分で進むべきであり、他人に左右されば、たとえその学問を会得しても、先で役に立たないと私達は信じて疑わない。

◆ 3 A

「殉死」

演出 鈴木 貞男 佐藤 光男

キャスト

家老	……豊田 昌夫	和尚	……大割 健男
用人	……佐藤 光男	家老の息子	……広瀬 勇
侍女浪路	……飯島美美子	石川五人	……鈴木 貞男

「一体この殉死というのは、殿様が亡くなられて中有一人旅に赴かれる時、臣下の者が死出の山、三途の川を一緒にお供して淋しさを慰さめるのが趣意になつていますからな……」

「かねて承知の通り殿様は御本家からの出なので、ぎりぎりのところ三人の殉死を出さなければ当家として義理が立たない、さもないと御本家が家中一党を不忠不信とみて所領没収と來るのが明らかだ」…封建時代の末期、ある小藩の城主の死……。それに伴なう殉死をめぐつて展開される人間の赤裸々な姿……。鋭く描き出された人間共通の卑屈さ……。

◆ 3 B

「また逢う日迄」

演出 宇崎 真 森脇 亜人

キャスト

田島 三郎	……古川 尚武	小野 蟹子	……草原 久子
田島 二郎	……阿比留貞夫	小野 すが	……松井 芳子
竹取さん	……小林 玲子	朗読者	……小松 仁

日本の敗戦は最早時間の問題となつた 1944 年初秋～45 年晚春の暗い時代に生きた三郎と蟹子は押し被さつてくる巨大な拘束の中に、唯一の光を求め、それは生への強い執着に振向けられる。だが二人の前には出征という厳しい現実が立ちはだかつているのだ。この時間的制約によつて縛られた愛情は激しく美しく燃えあがつていく。しかし人生最大の欲び、愛という人間個々の快楽も国家的利害関係、戦争によつて慘たらしく破壊されていく……。

二人の間に生じた激情の炎はそのまま戦争を心から憎むのろしでもあるのだ。

展示

◆ 1 A

「ベンチ製作」

1 2 教室

「ベンチ作り」となんと素晴らしい考え方であろう。これは簡単に生まれてきたものではない。文集・劇などと比べ長い討論の結果、決定されたのだ。又上級生らの批判を押し通してきた以上、我々は最善を尽すつもりである。結果は問題ではない、その過程が大切なのだ。ブロックで作るものから丸太作りの素朴なものまで各種各様である。プラタナスの木の下にその姿がみられたらあなたの疲れを休めてくれるでしょう。

◆ 1 C

「高校生六ヶ月」

1 1 教室

都高に入学してはや六ヶ月……。

我々は高校生として、あるいは又社会の一員として様々な体験をしてきた。その時我々は何を考え、何をし、何を得たか？

過去六ヶ月の都高生活を反省し、正しく目標をみつめ、そして今自分達の考え方をはつきりと表示し、今後をいかに生きていくかを見きわめていくものである。

◆ 2 D

「若者の矛盾」

1・2 教室

夜の国道を我が物とするスピード狂達——彼らはこの夜のオートバイの快走のように人生を暴走しながらしばしの俗世間超越を楽しむ。今日も紙面をにぎわす政防法学生デモ隊、彼らは、恒久平和を夢みて、社会へのエネルギーッシュなレジスタンスを試みる。

彼らの行動は大人をして眉をひそませる。

彼らは言う「これすべて戦後の自由主義教育の欠かんなり」と……。

彼らの非難は、単にはきちがえられた自由に対してだけのものであろうか？ 思想の自由に侵入しないものであろうか？

また、学生自身でさえも彼らにむかつてつまらない抵抗はやめよ——人間一度は、社会に妥協しなけりやならないんだ、そんなえん世的或いは、理想主義的な思想をもつたってまともな人生は歩めないと無言の忠告を発する。こんな暗黒の承認がなされた今日、主体性のない感覚動物が大量生産されている。ではこのような社会背景のもとで、我々の研究した七つの異環境の若者達はどんな反応を示すであろうか？

◆ 機 研

9 教 室

鉄道部門……東海道新幹線の技術的研究に関するパンフ発行、及び同線車輛模型運転。最近新聞やその他マスコミで、よく鉄道はもう斜陽産業である。従つて東海道新幹線は万里の長城のような無用の長物であるといつたようなことを耳にする。そこでその様な事態を考えて、趣味的に又技術的にも興味のある新幹線について研究することにした。

自動車部門……ゴーカート製作の解説と実演。ゴーカートといつても本式の自動車を造ろうというのではなく長年我々の愛用してきたスクーターを我々独自の設計にもとづいて改良した前二輪後一輪車である。が、これによつて自動車の機構を研究することにした。

ラジオ部門……トランシーバー及びインターフォンの実演。

その昔、はあつちの山とこつちの山でのろしをあげて連絡したが今は電気がその役目を、している。遠く海外との連絡に、そしてビルの上と上との連絡に無線有線の通信が行なわれている。そこで我々はトランシーバーと、インターフォンを製作しその働きがいかに広範囲に及ぶものであるかを見てもらうことにした。

◆ 写 真 同 好 会

10 教 室

会員及び一般募集の作品を展示し本校の皆さんに写真に親しんでいただきたいと思います。その意味で内容も校内行事山岳等としました。パンフレットは、写真に関する諸注意をしるし無料配布する予定です。

◆ 美 研

「絵と立体構成」

絵の指導

美 術 室

◆ 物 化

化 学 室

我々はこの夏休みのはじめに行つた氷川～屏島間の水質検査の内容と結果を発表しようと思う。発表するものは温度、PH、塩素イオン、アンモニア性窒素、過マンガン酸カリウム消費量、カルシウムイオン、溶存、酸素、硬度である。未だ初步段階であるから、かならずしもうまくいつたものでない。その他にも実験を発表する予定である。

◆ 生 物

生 物 室

人間の生命を守る生物学、そして生物部として、今年は多少社会問題的傾向のあるものをテーマとして取り上げる。その一つは『原水爆』の問題である。これは広く一般を対象としてその影響を中心にアピールする。もう一つは『小児マヒ』である。政府の懸命の供給により下火になつて來たが、どうして生ワクチンは効果があるのだろうか？ 等々その実体をさぐる。他に実験として、血液検査、ハツカネズミの迷路學習、ウニの発生実験、そして真鶴岬採集の生きた海性生物を水槽をもうけて展示を行う。

◆ 天 気

物 理 室

天 文

● 天体写真

{ 太 阳
小 惑 星 etc

● 惑星の軌道投影

● 流星観測の発表 その他写真・パンフレット

氣 象

● 台風の記録 etc

毎年、毎年、『天気』の展示は模造紙と文字でうまつているのが普通だが、今年はそれを破つて見たい。今日、マスコミが発達して文字で表わされる私達の知識が豊富になつてるので、目を通じての展示に変えようというわけである。しかしその反面こういつた方法をとると『新知識を得る』ことが少なくなるようだ。元来『展示』の持つ意味は、そういう所にあるのかもしれない。

◆ 2 C

齊先生の見たソ連

7 教 室

去る七月、我校の象徴、齊先生は、共産主義国へと進みつつある国、ソ連へ行かれた。先生は我々教え子のためにも一秒も無駄にせず、あらゆる形でソ連を学び、研究し、すばらしい成果を持つて帰国された。今日の記念祭を最上の機会として、皆さんにソ連のすべてを見ていただきたい。そして先生のソ連旅行の成果を再確認していただきたい。

◆ 記念文集

3 C

「生 き る」

生きることは僕達にとって「真実」及び「幸」への無限なる衝迫であり追求であり、闘いである。その展開は自己における生への認識であり肯定でもある。闘いは自らの手によつて行使されなければならない。安保闘争は実に僕達の思考の座に把みかかり荒れ狂いそれを回転させた。当面している受験も又然り、矛盾に満ちた生活から生命における新しい創造、新しい萌芽への息吹きを植えつけるのだ。現実を直視し把握し僕達の魂に未来への序章を築くのだ!! 勿論、絶望をかなぐり捨てることによつて、勿論、喜びに向つて高らかに笑い歌うことを忘れずに——。

抵抗だ。反逆だ。

かくて『前史』から『人類史』への飛躍に向つてジェノアの船は進む。

さあ闘え!!

生きるのだ!!

僕達の生命のはとばしりに傾聴したまえ。

生きる……………。

◆ 記念行事

☆執行委員会 定時制との懇談会

毎日同じ教室で勉強しているのに、定時制の人達について我々は何もしらない。勉強する時間が昼と夜の違いだけなのに、私達には定時制生徒に対する誤解や偏見が数々あると思う。それは単に生徒だけではなく、父兄の間にもある事ははなはだ残念である。今年はそのような状態を打破し、定時制と親密な関係をもつていく為に充分な話合が行なわれなくてはならない。学園内の問題、クラブ活動、交友関係、校外活動等にお互いの意見を出し合いお互いの状態を充分に理解し合つてこそ都立の正常な発展が促されると思う。又三年生で来春就職する人にも、彼らは有効な意見を述べてくれる事だろう。22日

☆自治委員会 OBとの懇談会

——高校自治会のあり方——

私達が今後自治を推し進めるに当つて最も重要なことは、過去を知つて、また経験を語つてもらつて、現在の足もとを固めることです。そのようなことから記念祭を始めるにあたつてここに懇談会を持ちたいと思います。

☆新聞 「都高時報」発行

☆山 岳 「しごき」発行

☆放 研 20, 21, 22日

於旧物理室

レコード・コンサート、3日間を通じて

クラシックからポピュラーまで数々の曲をステレオによつてお聞かせする。

☆社 研 パンフ発行、

この記念祭を迎えるにあたつて私達はもう一度自分の教育的立場を考えてみなければならぬと思う。文部省—日本政府—の学力検査は日本の学校教育——特に大学の試験地獄に拍車をかけており、小山台問題にも学生への圧力が、はつきり読みとれたこゝして学園の形式化、人間の機械化を押し進めようとする反動教育の実態を研究し、この記念祭を機会に一人一人が今後の教育の動きを認識する事によつて自分を認識することもできようし、記念祭の意義の必要性もわかるであろう。

●大学入試制度の実態

●産学共同

●教育政策と立法

●学園教育の実態

☆水 泳 校内アーチ作成

☆バ ス ケ OB戦、招待試合
20, 22日

☆バ レ ー OB, OG戦 22日

☆野 球 招待試合 22日

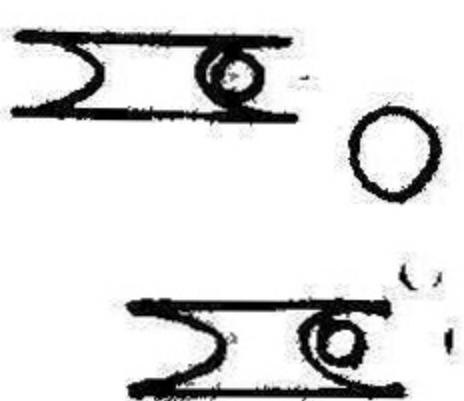
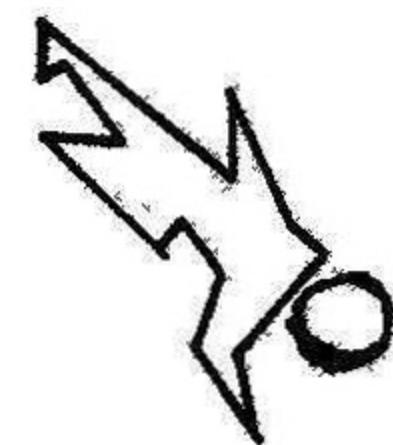
☆サッカー 招待試合 20日

☆卓 球 OB, OG戦 招待試合

☆音 智 OB, 現役合唱
22日（昼休み）講堂

10月1日(土)

第2回定期試験



連合決

3年決

B:D

連合決
3年決

軟式野球

I

A:C

3A:3C

A:D

3A:3C

A:C

排球

II

男子女子

女子

男子

女子

排球

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

III

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

IV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

V

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

VI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

VII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

VIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

IX

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

X

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XIV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XVI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XVII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XVIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XIX

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXX

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXIV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXVI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXVII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXVIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XXXIX

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XL

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLIII

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLIV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLV

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLVI

甲乙

甲乙

甲乙

甲乙

排球

XLVII

編集後記

今度のプログラムは例年とは違つたものをとハリキリ、でき上つたのがこれである。このプログラムを作ることで私達はバイオニアの苦しさをいやという程味わつた。もうず広告。我校はこの方面の伝統はゼロなのでどこへいづても開口一番で新しいところほども……とくる。原稿集めから時間の割当て、活字の大きさ等々苦労も多かつた。が、私達はすべてを印刷屋さんにまかせた今、ともかくも満足感以外の何物もない。まがりなりにも新しいものを作つたという喜びと仕事の終つた安心感に包まれて反響を待つばかりである。

最後に表紙カット等の事でお世話をなつた有志の方に御礼を申し上げます。

発行所 第13回記念祭執行委員会
責任者 執行委員会 書記局

代々木ゼミ

テレビ・ラジオでお馴染の先生方が直接指導される

五回 理・英・数・国 十二月三日	四回 理・英・数・国 十一月二日	公開模擬試験 (第四回受付中)
七回 理・英・数・国 二月四日	六回 理・英・数・国 一月十四日	

●特設單科
理・社会全科目

●特別講座
英・数学国添削料・速修化
語・高見・魚返・井上・
田島・数学・関・富倉・国語

●独講講座
野原・原・英語・西尾英
文法・増野・中野速修英

開講十二月十八日受付中

冬期講習会

案内
無料
送呈

渋谷区代々木1-27 TEL

(371) 6291~2 (西電) 代々木駅下車一分
(368) 1980 (小田急) 南新宿駅

●信頼できる旺文社の雑誌

百万人の英語
ラジオ講座
テキスト

毎月(都内)14日発売

誰でも読め、書け、話せるようになる

毎月(都内)14日発売

大学受験ラジオ講座
テキスト

大先生はみなこの名講義を聴いた

新宿町
東横
寺京

高校生の学習教養人生誌！
全科学習講座、高校生の進学・就職問題、青年期の人生相談、魅力的な小説、名作紹介、便利な付録など豊富で充実

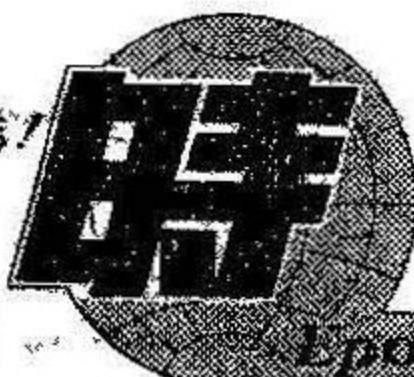
毎月14日発売

大学受験者の必読誌！
30余年の伝統と経験を誇る大学受験誌の決定版。試験官の忠告、突破講座、入試情報、役立つ付録など完璧の内容。

監雪時代

毎月14日発売

新時代の時局解説誌！



毎月(都内)
19日発売

恭文堂書店

学芸大学駅東口

Tel
(712)

四〇四九
七六一四

読書の秋です！

旺文社 (図書目録)
(贈呈)

印 刷
ム
各
種
印

紙用品
洋文事務用

津の国屋

Tel (718) 2079

都立大学前通り

早慶なら専門予備校！

早慶ゼミナー

後期 第三期 開講中 换り若干名受付

- ▶夜間部（文系・理系）各コース共“高三在学生”を対照とする自由聴講制
- ▶單科（英・数・国）1日3時間・週2回

公開模試 冬期講習

第4回慶大模試 11月19日（日曜日）

第5回早大模試 12月3日（日曜日）

開講 12月24日～1月7日

▶午前部 ▶午後部（文・理系各コース）

受付 10月10日より申込順

はがき又は電話にて申込次第案内送呈

都認可・国鉄指定（渋谷学園）早慶ゼミナー

東京都渋谷区宇田川町23番地・TEL. (461) 1326・3243・9867

都立
大學前

旭ベーカリー

TEL
(717)
九〇八八
九七八一

おいしいスナックパンで

昼食は

新刊書籍・雑誌
専門書・地図・参考書
学習レコード

Yagumo-do
books

各種出版物特約店

八雲堂書店

都大駅前 TEL (717) 2339

第13回記念祭歌

小松夏一作詞

小川一治作曲

元氣よく

ああま夜空にほしまらめまーとわれ
 うつヒえりシのあかにふる
 きつたえとへいわのじちーにかた
 まここうとみつきめいにわか
 まくはか一めぐるわれ
 らの意氣は磨一えみバーる

一、

青き夜空に星きらめきて

我等つどえりこの丘に

古き伝えと平和の自治に

固き心と厚き使命に

若き血潮はかけめぐる

我等の意氣は燃えあがる

二、

澄んだ大気に月照り映えて

我等つどえりこの丘に

熱き炎に新たな意氣を

暗き社会に平和の道を

誓つて友は立ち上る

求めて友はかけめぐる